

ギリシャ神話の世界ではパンドラという美しい女性が出現するまで人間は男性だけで平和な世界を形成していたとされており。しかし、プロメテウスが神々の国から火を盗んで人間に渡した事から神々は人間がこれ以上偉くなる事を恐れ、パンドラという女性を人間の社会に出現させました。神の国の大将であるゼウスはパンドラに一つの箱を手渡します。決して開けるなという条件で。「開ける

な」と言われれば開けてみたくなるのが人の常、パンドラはついにその箱を開けてしまいます。そしてその箱の中から怒り、病気等のありとあらゆる災いが出現しました。さて、戦後の日本の社会にもやはりパンドラは存在していたと思います。それは科学万能であり、又経済至上主義であったのではないのでしょうか。我々はこのおかげで豊かになり、また先端技術の発達や肝臓移植に代表されるように、目をみはるものがあります。しかし、MRSAや薬害エイズ等の出現は日本の国の環境悪化と同様にまさにパン

パンドラの箱

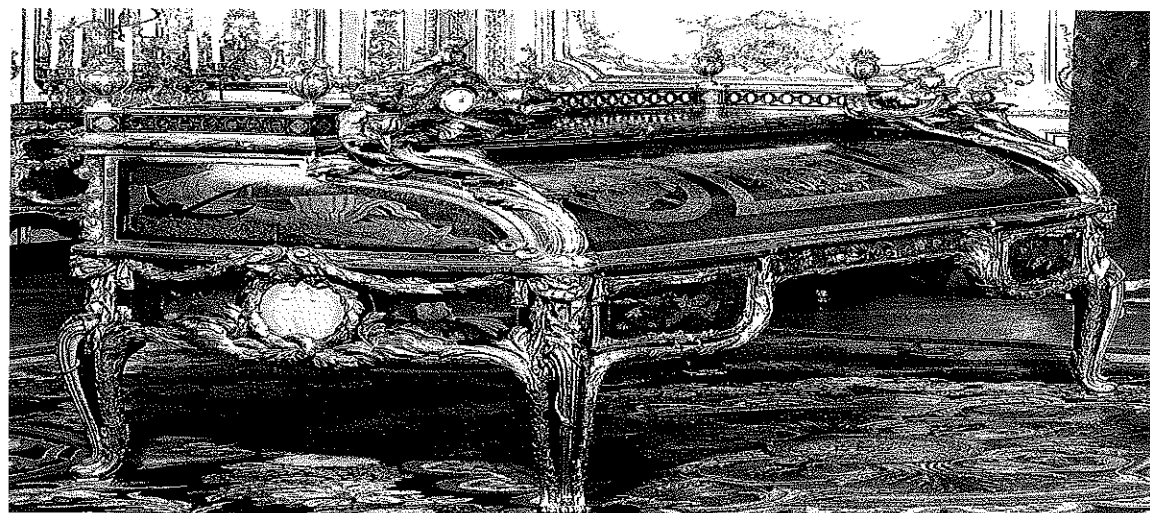
理事長行岡正雄



院園部
号病学
3岡岡報
行行広北
区浮田2-2-3
TEL371-9921



ドラの箱が開けられた様な状態を医療界に呈してあります。さらにバブル経済の崩壊は経済至上主義というパンドラすら色褪せたものに変化させてしまいました。この様な世紀末の日本の医療界にあってどの様に対応していけばよいのか等、浅学非才の私にはわかるはずもありません。しかし、パンドラの箱の一番下には「希望」という言葉が入っていました。21世紀を前に控えて行岡病院はこの希望という灯に導かれゆつくりと門出していきつつあります。



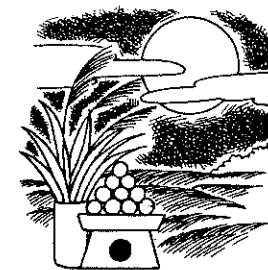
新入職員紹介 (順不同)

氏名	所属
大橋 知佳	看護部
山内 来美	看護部
吉田 香織	看護部
西島 勲	経理課
西村 知也	医事課
八和田 真由子	医事課
井筒 恵	人事課
板東 有香	医事課
岸 真由子	人事課
峰岡 陽子	歯科(歯科衛生士)
宮地 美奈	看護部
品川 眞喜子	看護部
前川 晃子	助手
津田 舞	デイケア室
木山 嘉子	眼科(視能訓練士)
松田 和美	栄養管理室
川北 友之	リハビリ科(理学療法)
武内 さつき	リハビリ科(理学療法)
永松 晃子	リハビリ科(理学療法)
永山 敬之	リハビリ科(理学療法)
森本 鉄也	リハビリ科(理学療法)
伊藤 愛子	リハビリ科(作業療法)
中塚 千尋	リハビリ科(作業療法)

氏名	所属
黒越 理恵	薬局
野口 和子	保育所
宮口 晴美	看護部
近藤 美樹	看護部
福田 有香	看護部
内藤 左耶香	看護部
西山 聖子	看護部
服部 佐和子	看護部
横松 秀明	外科
高上 正美	看護部
小林 祥子	看護部
西村 美智子	看護部
中村 友美	看護部
澤井 雅恵	看護部
長平良 緑	看護部
石井 美代子	看護部
小野川 裕子	看護部
夏梅 隆至	整形外科
宮本 建治	リハビリ科(理学療法)
杉本 幸恵	薬局
金澤 秀孝	歯科
林田 和美江	看護部
田中 静子	看護部
松本 多寿子	看護部

行事予定

月	行事
10	健康診断
11	職員忘年会
12	互礼会
1	永年表彰、創立記念日 (18日)
2	新入職員
3	オリエンテーション 慰霊祭(上旬)



氏名	所属
下野 朋子	看護部
三田 明子	看護部
山口 美紀	栄養管理室
吉本 留美子	栄養管理室
寺澤 健	リハビリ科(理学療法)
山田 正信	脳外科
駒井 義彦	眼科
松山 元昭	整形外科
小宮 靖弘	整形外科

新スタッフ紹介

編集長	山田高廣
編集委員	(検査室) 吉田和子
編集委員	(薬局) 山崎サダ子
編集委員	(看護部東8階) 岩槻厚
編集委員	(リハビリ科作業療法) 西島勲
編集委員	(経理課)

編集後記

暑かった夏もようやく終わり、過ごしやすくなってまいりました。当院でも、コンピュータ導入、デイ・ケア開設など、患者様にもよりよい環境の中でお過ごしいただけるようになったのではないのでしょうか。“ひこばえ”の方も皆様の御協力により、第3号を発刊できることとなりました。今後とも皆様の御応募、御協力をよろしくお願い致します。

『古くて新しい』

名誉院長 前田 晃

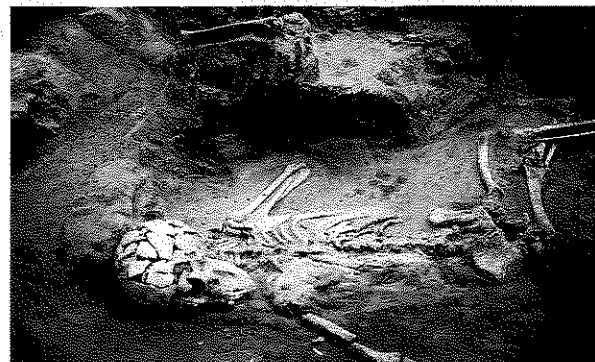
昨年12月に滋賀医大の福田教授に誘われて、中国河南省鄭州の遺跡から発掘された人の骨格の調査に出かけた。新石器時代（約6千年前）から弥生時代（約3千年前）にかけての遺跡から出た人骨を整形外科医の目で骨病変の有無を調査した。古代の人骨から人類を悩ました病気の存在を研究する学問を古病理学といい、古いものから新しい事実を発見するのである。世界では19世紀の後半から古代のエジプトのミイラを調べて、当時から天然痘、ペスト、動脈硬化、関節炎、ポリオなどの疾患があることが分かって以来、欧州、イギリス、アフリ



河南省文物考古研究所で弥生時代の人骨を調べている福田教授、黄医師と私(写真左)

カ、アメリカなどで調査が進んでいる。私たちリウマチ医にとってリウマチ疾患とくに慢性関節リウマチ（以下RA）がいつごろから発生したかを知るとは興味深いがまだ定説はない。16世紀以前からRAが存在したという報告や証拠はなく、RAの発生についてはいまだに論議されている。

今回の調査でも変形性関節症や軟骨骨化などは見つかったがRAらしき関節炎は見つからなかった。北アメリカのテネシー川のごく限られた地域でRAらしい関節炎のある原住民の遺体（約4千年前）が発見されたことから、RAはコロンブスらによって新大陸から欧州に搬入されたという説が一番新しい仮説である。このような事に興味を持って新聞を読んでいると、日本でも最近遺跡の発掘は多くて平均すると週1回遺跡の発見の記事が載っている。その中でも神戸震災後の工事現場である新方遺跡から『縄文人のような弥生人』の人骨の一部が、また橿原の四分遺跡ではほぼ完全な2体の骨格が発掘されている。日本の縄文時代の人骨は約7千体あるといわれており、これらの調査で



鄭州西山遺跡の発掘現場でみられた人骨

日本人の成り立ちや骨の病気などが調べられている。ごく最近に滋賀医大の井上講師（以前当院に勤務されておられた）が縄文時代の人骨でRAらしい末梢関節炎の骨病変を発見されたという話を聞いたが、もしRAであれば世界の人類学者やリウマチ医の注目をひく最も古くて新しいRAの古病理学的発見である。

で、平均入院期間が十一日と短く、病院のベッド数は二十年前は六百床で現在は二十床に激減しています。そこで印象に残った事は、職員たち一人一人が一丸となって、メンタルヘルスケアに取り組んでいることです。

交流会では看護婦が仕事に誇りと自信を持ち、自分の意見を堂々と述べ、医師と同等の立場で医療の向上のために日夜研鑽している様子が伺えたことに感激し、改めて身の引き締まる思いがしました。さよならパーティーで一班の人がホスピスのラリーさんと抱き合い、涙を流していました。その理由を尋ねると、死生観を考えさせられた素晴らしい、感動的な講義を受けたからだそうです。

今回、研修に参加させて頂き、そこで色々な体験を通して自分の視野が拡がり、クラスメイトと親しくなることが



病棟紹介 東6階

東6階 秋丸由美

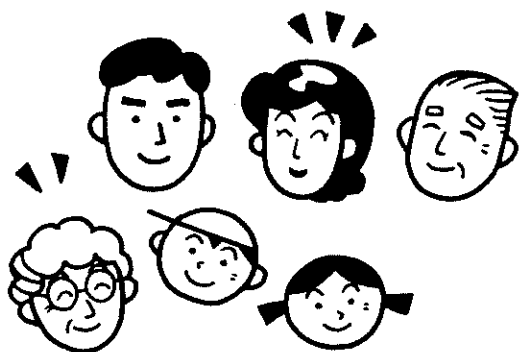
私の所属する東6階病棟は、整形外科・外科病棟で、手術を目的とした患者さんが大部分です。

できました。研修旅行を計画して下さった関係者及び学校に心より感謝致します。ありがとうございました。

病棟の廊下は、ギブスを巻いて車椅子に乗っている患者さんや、松葉杖で歩行されている患者さん、常に点滴台と一緒に歩かれる患者さん等さまざまです。こうしたいろいろな疾患が混在し、手術も（月）（金）のほとんど毎日と言った感じです。毎日、戦場のような忙しさであり、術前・術後の看護、入院の対応等でスタッフはてんでこまいの状況です。

でも、私は変化のある病棟が好きで、入院によって出会う多くの人とかわりたいと思っています。

忙しさに追われ、病棟を走り回っている時、患者さんに声をかけられる事があります。その患者さんは、私が今まで気にもとめていなかった、窓際の鉢植を見て、それぞれの鉢植の話をしてくれま。そんな短い時間でのちよつとした会話でホッとする事ができるのです。本当なら、ホッとすると時はこちら



が提供すべき事なのですが…。患者さんとの日々の関わりの中で、もっとゆつくりと会話が出来るように、仕事の内容を見つめ直すことや、又常に余裕のある自分であるように努力していきたいと思っています。元氣になって退院される患者さんを見て、一緒に喜び合える時は、何物にも変えがたい思いで一杯になります。又、勤務が終了する時には「やっと終わったね」と、ささやかな達成感を全員で確認し合っています。

老いについて

消化器科 白木正裕



東四階病棟を担当することになったためか標題のような課題を与えられました。老いについて正面から切り込むには経験も知識も乏しく、頭の中は真っ白なまま原稿の締切が近づいてきます。このままでは「ひこばえ」に穴を開けてしまうので、経験は十分とはいえませんが消化器病領域で私が見聞した中から老いと関連がありそうなことを振り返ってみます。

高齢者にとって命に関わる重大な病気は癌（がん）です。

不幸にして癌を患ったとき内科的手術が可能なきもありますが、大部分では最良の治療は外科的手術です。しかし、手術に耐えられるか否かは大変な問題です。通常血液検査と生理学検査を駆使し耐えられるかどうかを判断するのですが、その結果を待つまでもなく患者さんに対面した第一印象で想像できることが多いように思われます。その印象とは、肌の張り、姿勢、声の張り、目の輝き、生きることに対する執着など、早い話が元氣に見えるかどうかです。この印象と検査結果は案外一致することが多いのです。特に七十歳以上の方では年齢より、第一印象が大事なことがあります。また高齢者に多く見られる腹部愁訴は、便通異常、特に便秘によるものです。症状は主におなかが張った感じやもたれが一般的ですが時には痛みもあり様々です。大

腸癌があつて便秘となる場合があります。一般的には若いときに比べ身体を動かすことが少なくなり、それに伴い胃腸の動きも悪くなり便秘に傾くのです。しかし便秘にならない方もいます。この人たちはやはり身体を動かしています。まだ働いている人あるいは何かの活動をしている人が多いのですが、生活が規則正しく、若い人のように飛んだり跳ねたりはしませんがよく歩いておられます。この人たちも第一印象は良いです。

「老い」には「良い老い」と「そうでない老い」があるようです。しかしどうも年齢とは関係ないようです。良く老いるための妙案は私にはありませんがなにかの参考になれば幸いです。



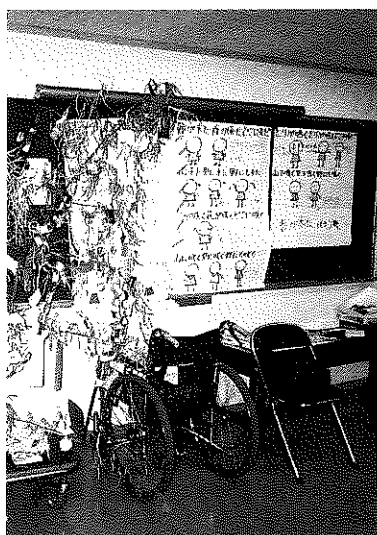
ゆきおか老人

デイ・ケア

デイケア室 飯山民季子

四月からの試行期間を終えて二ヶ月が経ちました。ケアミックス、訪問看護、デイ・ケアという地域に根ざした一つの輪が出来上がりました。

皆さん、ご存知でしたか？在宅を推進し、家族の介護意欲と高齢者の自立にしております。



私は、はじめ「これもしてあげよう、あれも」とはりきっておりまして。でも今、それは私の思い上がりだったと思っています。私が患者様にさせて頂く事があるとなれば、真心の看護、だけです。それ以上に、患者様は、私の何倍もの心を返して下さいます。患者様が、私を成長させて下さっている、

つくづくそう思います。ある患者様が、「ここに来ると安心してホッとします」とおっしゃいました。デイ・ケアが、我家と同じくらい、くつろぎの場であるように、自然体で努力していきたいと思っています。

あっ！ワゴン車がお迎えから帰ってきました。
“おはようございます” 今日モデイ・ケアの一日がはじまります。このような重要な仕事を与えて下さった当医院に、私は今すごく感謝しています。

医療事務システムが切り替わりました

医事課 寺前為之

昨今の医療法等の改正によって、医事課ではますますコンピュータ処理に頼るところが大きくなりました。

●どうして切り替わったのか？

↓理事長より、応答性能の良さ・診療情報の検索に基づく統計資料の作成をスムーズに行えるようにするため、パソコンLANの導入の話を頂いたからです。

●切り替え前と切り替え後の様子は？

↓わずか2ヶ月という準備期間に対する不安もありましたが、医事課職員や東亜システム(株)のバックアップもあつたおかげで、何とか初日を終わることができました。切り替え後は入力作業で精一杯の状態、多少の待ち時間の増加はありましたが、無事3ヶ月が経過しようとしています。

●将来の展望は？

↓医事課に導入したパソコンを利用した各セクションとの電算システムの検討や、ネットワークを拡げていくことによる多種多様の業務を行えるように検討していきたいと思っています。

最後になりましたが、今後、「①患者サービスの向上 ②医療事務の省力化・効率化 ③医療情報の迅速で多角的な分析 ④対外的なイメージアップ」等を目標として、医事課職員が一丸となってより一層の努力を続けたいと考えています。

	デイ・ケア	デイサービス
法令	老人保健法	老人福祉法
利用料	保険による実費	実費
目的	治療	サービス
内容	医療、リハビリ、看護、介護	
専門職員	基準	標準
施設	基準	標準

オーストラリア 研修を終えて

西4階 小島純子

入学後、すぐに準備を進めていた八泊九日の研修旅行が無事に終了しました。研修内容は講義・施設見学・交流会で二班に分かれて行動しました。講義でオーストラリアの若者は仕事に就けず、ドラッグや酒に溺れて自殺する事も多いことを知りました。日本ではいじめによる少年少女の自殺が問題になっており、国が違っても問題も違うと感じました。

ウエズリー病院の見学で最初に驚いたのが、看護婦がキヤップなしのブラウスにスカート姿で仕事をしていることです。次にカルテは患者の部屋の入り口に掛けてあり、患者やその家族も自分のカルテを自由に見る事ができるよう

に私は「知る権利が守られているなあ」と感銘を受けました。バンクスタウン高齢者施設は、高齢者や医療従事者の負担を最小限に考えている施設でした。例えば、車椅子でリフトを利用しシャワー浴が出来る設備があるところや、洗濯力ゴも腰を痛めないように工夫されているところです。LNS精神保健センターは患者の自宅で治療するシステム

